

はやぶさ ゲームで操縦

“小惑星イトカワ 目標地点に移動せよ”

刈谷市交通児童遊園内にあるNPO法人「刈谷おもちゃ病院」の「ドクター」が、小惑星イトカワに着陸、サンプルを採取した探査機はやぶさの動きをゲーム感覚で体験できるマシンを制作した。

(浅井正智)

刈谷・おもちゃドクター制作

同市総合文化センターで三月三十日～四月三日、はやぶさの帰還カプセルが公開される。トヨタ系企業の技術者OBが多いドクターたちが「はやぶさの宇宙空間での動きを子どもたちにリアルに体験させられないか」とマシン制作を思いついた。

来月 帰還カプセル公開時 披露

センターのクレイニングゲーム機で遊んでいるような感覚。目標びったりに着けると「大成功、大変よくできました」と音声で合格点がもらえる。

はやぶさの模型は実物の三十二分の一の大きさ。レバー操作に連動して内部に二十二個埋め込んである発光ダイオード(LED)が点滅する。院長の石川良雄さん(モコ)が「ものづくりのプロだから手抜きをせず、細部にもこだわった」という自信作だ。

はやぶさ体験マシンの完成を喜ぶ制作者ら＝刈谷市神田町の刈谷おもちゃ病院で

